

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-178	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ 104-903	EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Essential		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校および「論理・表現Ⅰ」との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用して論理的な英語表現の能力を伸ばすことが可能となるよう選定した。
3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身に付け、積極的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し CAN-DO for Goal Activities	・各課で達成すべき目標を3領域に分けて具体的に提示することによって、英語による表現活動への取り組みを促し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	前見返しⅠ・Ⅱ
後見返し English Punctuation	・英語の句読法について正しい知識を習得させる。(第1号)	後見返しⅢ・Ⅳ
Lesson 1～11	<p><導入ページ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課のテーマに関連する写真を用いたりスニング活動を通して、学習内容の導入を行い、学習者の学ぶ意欲や主体的に学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号) ・トビラ写真の内容を踏まえた英語でのやり取りを通して、相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号) ・使用場面や機能を念頭において、言語の実際の使われ方を理解しようとする。(第1号) ・言語の身近な使用例から、コミュニケーションツールとしての英語の重要性を認識 	<p>Before you start... 1. (8, 16ページほか)</p> <p>Before you start... 2. (8, 16ページほか)</p> <p>Model Dialog / Model Passage (9, 17ページほか)</p>

	<p>し、自国や他国の文化を尊重する態度を養う。(第5号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平等意識や公平の観念を養うため、男女や人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号) ・ペアで行う英問英答や、やり取りの活動を通して、他者の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づき積極的にコミュニケーションする態度や、自他を大切に協力し合う態度を養う。(第2号, 第3号) ・英語特有の論理表現や言語の働きを学ぶことを通して、幅広い知識や英語で表現をする際に必要な論理的な思考力を身につける。(第1号) ・地域活性化に関する探求学習のテーマ設定について友人や教師と検討する題材を通して、公共の精神を育み、社会への参画を意識させる。(第3号) ・国内外の食品廃棄に関する取り組みを扱う題材を通して、環境保全に寄与する態度を養う。(第4号) ・世界の食文化や世界に広がる日本のポップカルチャーを扱う題材を通して、日本文化や他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号) ・自分が強く熱中しているものについて扱う題材を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主自立の精神を養う。(第2号) ・個々人が旅行先に配慮した行動をとる重要性を扱う題材を通して、地域の伝統と文化を尊重する態度を養う。(第5号) ・対立する意見を複数の友人と議論する題材を通じて、個人の価値を尊重するとともに、他人を敬愛し、協力し合い、公共の精神を養う。(第2号, 第3号) <p><言語の基本事項を学ぶページ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得する。(第1号) ・ペアやグループで対話や自己表現活動を行い、学習者の創造性を伸ばしながら、コミュニケーションを図る力を培う。(第2号) ・英語で表現するための基本的な知識を定着させる。(第1号) ・自身のことについて書く表現活動を通して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。(第2号) ・自身のことについて書いたことを活用して行うペアワーク等を通して、相互の意見や価値観を尊重する態度を養う。(第3号) <p><活動ページ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための基本知識や言語の働きを踏まえ、様々な場面でコミュニケーションを図る力を培う。(第1号) ・Model Dialog / Model Passageと関連した内容のリスニング活動を通して、導入ペー 	<p>写真・イラスト全般</p> <p>Questions and Answers, Let's Communicate! (9, 17ページほか)</p> <p>Logic and Expressions (9, 17ページほか)</p> <p>Model Dialog (87ページ)</p> <p>Model Passage (69ページ)</p> <p>Model Dialog / Passage (9ページ, 35ページ)</p> <p>Model Passage (17ページ)</p> <p>Model Dialog (51ページ)</p> <p>Model Dialog (77ページ)</p> <p>Grammar for Expressing Yourself (10, 12ページほか) ページ下部の活動 (10, 11ページほか)</p> <p>Practice (11, 13ページほか) Express Yourself 1. (11, 13ページほか) Express Yourself 2. (11, 13ページほか)</p> <p>Goal Activities (14, 22ページほか)</p> <p>Task 1 (14, 22ページほか)</p>
--	---	---

	<p>ジと活動ページとを架橋し、学習者自身が課の目標を達成するための学ぶ意欲を喚起できるようにした。(第1号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでのやり取りや発表などの自己表現活動を通して、創造性を培い、相互の意見や価値観を尊重する態度を養う。(第2号, 第3号) ・コミュニケーションツールとしての英語の重要性を認識する。(第1号) ・自分が考える健康法や興味のあるスポーツ, 生活を便利にしたデジタル技術について考える表現活動を通して、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う。(第1号) ・自分が熱中していることや他者に推薦したい本を紹介する表現活動を通して、個人の価値を重視する態度を養う。(第2号) ・居住する地域のよさを伝えるための観光計画に関する表現活動を通して、公共の精神, 社会への参画を意識させる。(第3号) ・食品廃棄を減らすためにできることについての表現活動を通して、環境保全に寄与する姿勢を養う。(第4号) ・日本のポップカルチャーや英語以外に学んでみたい言語について説明する表現活動を通して、自国の伝統や文化を尊重し、国際社会の一員である自覚を促す。(第5号) 	<p>Task 2 (14, 22ページほか)</p> <p>Goal (15, 23ページほか)</p> <p>TRY (15, 23ページほか)</p> <p>Goal Activities (Lesson 3, 5, 11)</p> <p>Goal Activities (Lesson 2, 9)</p> <p>Goal Activities (Lesson 10)</p> <p>Goal Activities (Lesson 8)</p> <p>Goal Activities (Lesson 4, 7)</p>
Paragraph Writing 1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフ構成や展開について基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) ・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号) 	<p>32~33ページ</p> <p>58~59ページ</p> <p>84~85ページ</p> <p>102~103ページ</p>
Grammar for Expressing Yourself Plus 1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するバリエーションを増やすための幅広い知識を確実に身につける。(第1号) ・ペアワークを通して、相互の意見や価値観を尊重する態度を養う。(第3号) 	<p>解説 (104~111ページ)</p> <p>Express Yourself (105, 107, ページほか)</p>
スピーチ, プレゼンテーションをしてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でスピーチ・プレゼンテーションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 	112~115ページ
ディベートをしてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でディベートをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 	116~117ページ
ディスカッションをしてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 	118~119ページ
Extended Activities Lessons 1-11	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークや発表など、様々な言語活動を通して、他者の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づき積極的にコミュニケーションする態度を養う。そして自他を大切にし、協力し合う心を養う。(第2号, 第3号) 	121~131ページ
Basic Sentences —基本例文一覧	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を定着させることを通して、英語を用いた表現力を確実に養う。(第1号) 	133~148ページ
Useful Expressions	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事柄に関する語彙を増やし、さまざまな話題について英語で表現する能力を養う。(第1号) 	149~157ページ

Model Dialog / Model Passage 日本語訳	・様々な対話や文の展開を理解することを通じて、生徒が基本的かつ幅広い知識を確実に身につける契機とし、自律的に学習できるようにする。(第1号)	158～159ページ
-----------------------------------	--	------------

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 英語を使って「話す力」「書く力」を無理なく段階的に伸ばすことができる構成

1. 各課は、Step 1 (導入ページ)、Step 2 (言語の基本事項を学ぶページ)、Step 3 (活動ページ) の 3 つのステップに分かれており、英語を使って表現するための力をステップアップしながら身につけていくことができる構成になっています。
2. 各ステップは見開き 2 ページ単位で構成されています。学習内容やゴールが一目でわかるため学習意欲を喚起しやすく、学習者にとって学びやすく指導者にとって教えやすい構成となっています。

B. 無理なく進められる学習事項の導入

Step 1 では、様々な活動を通してその課での学習準備を行います。各課のテーマに関連する写真の内容に関してペアで簡単なやり取りをする活動、その課での学習事項に触れて到達点をイメージできるモデル文、そしてモデル文を踏まえた簡単な対話練習等の複数の表現活動を通して、無理なく導入ができます。

C. 学習した言語の基本事項や重要表現を確実に理解・定着させ、すぐに活用

Step 2 では、英語で表現するために必要な言語の基本事項や重要表現を例文とともに学習し、Practice で学習した内容を確認します。Practice の英文の多くは各課のトピックに関連しているため、学んだ英文も活用しながら、直後の Express Yourself において 2 種類の表現活動 (自分のことを「書く」活動やペアでの「やり取り」の活動) に取り組み、学習した内容をすぐにアウトプットすることができます。

D. 各課の到達点としてまとまった文章を書いて発表する活動へと展開

Step 3 では、Step 1 と 2 で学んだことを活かしながら、課のゴールとなる表現活動を行います。Task 1 → Task 2 → Goal の 3 ステップに分かれており、無理なくステップアップしながら授業をスムーズに展開し、Goal でまとまった文章を書いて発表する活動を行うことができます。

II. 各課の構成

A. 正課：表現の「導入」「理解・定着」「活用」をスムーズに展開できる内容としました。

1. 導入ページ (1 見開き/課)

- a) 左ページ：各課のテーマに関連する写真を用いたリスニング問題と簡単なやり取りをベースとした活動を行います。
- b) 右ページ：本課共通の登場人物によって行われる対話や発表例 (モデル文) を通して、高校での学習事項のスムーズな導入を行います。そしてモデル文を踏まえたペアでの英問英答の活動や、モデル文に関連するやり取りを通した自己表現活動を行います。

2. 言語の基本事項を学ぶページ (2 見開き/課)

- a) 左ページ：英語を使って表現するための基盤を築く言語の基本事項や重要表現を例文とともに学習します。さらに、青色及び緑色の枠囲みでは「表現」につなげるポイント等を紹介しています。
- b) 右ページ：学習した言語の基本事項や重要表現を確認するための問題を載せています。問題文の内容の多くは各課のトピックに関連したものとなっており、使用されている語彙や表現を、すぐに直下に配置された 2 種類の表現活動を通して活用することができます。

3. 活動ページ (1 見開き/課)

- a) 左ページ：モデル文に関連する対話や発表の音声を聞いて情報を書き取る活動と、課の Goal を見据えたペアでのやり取りを通した情報を整理する活動を行います。
- b) 右ページ：左ページの活動やこれまでに学習した表現を活用しながら、50～70 語程度のまとまった文章を書き、自分の考えをまとめて発表する活動や、ペアやグループでやり取りの活動を行います。

B. 正課以外

1. 前見返しでは、各課で達成すべき目標を 3 領域に分けて具体的に提示することを通じて、その課でできるようになることが学習者に明確にわかるようにしました。
2. Paragraph Writing 1-4 では、典型的なパラグラフの展開パターンを学習し、一貫性のある論理的なパラグラフを書く練習ができるようにしました。

3. Grammar for Expressing Yourself Plus では、英語で表現するバリエーションを増やすための学習ページです。学んだ知識を活かしてペアでやり取りの活動も行います。
4. 「スピーチ、プレゼンテーションをしてみよう」「ディベートをしてみよう」「ディスカッションをしてみよう」では、英語で各活動を行うための解説をまとめ、学んだ知識を活かして様々な表現活動をする際に活用できるようにしました。
5. Extended Activities では、各課で学んだ知識を活用しながら行う表現活動を行うことができます。イラストで示された状況や設定において、ペアやグループでやり取りをしたり、クラスの前で発表したりします。
6. Basic Sentences では、各課で学習した基本例文を日本語訳とともに再掲しています。正課での復習を兼ねて活用することで英語での表現力を鍛えることができます。
7. 各課のテーマに関連する語句を Useful Expressions としてまとめ、表現活動に適宜使えるようなものとしました。
8. 後見返しでは、English Punctuation として、英文を読んだり書いたりする上で役立つ基本的な句読法をまとめました。

◆教材配当表 <B5判・160ページ・4色>

課	タイトル		学習事項
1	Exploring new tastes 【世界の食文化】	【いろいろな文・文型】	いろいろな文を使って表す 説明・紹介する
2	What I'm into right now 【熱中していること・「推し」】	【時制】	時を表す（現在・過去・未来） 時を表す（完了形）
3	Using apps to sleep better 【健康・睡眠】	【助動詞】	話し手の判断や気持ちを表す（1） 話し手の判断や気持ちを表す（2）
パラグラフの構成① Illustration / Listening		例示・列挙	
4	The rise of Japan's pop culture 【日本のポップカルチャー】	【受動態】	「～される」を表す（1） 「～される」を表す（2）
5	The joy of skateboarding 【スポーツ】	【不定詞】	to do / do を使って表す to do を使って表す
6	Being a responsible tourist 【観光・経済】	【動名詞】	「～すること」を表す（doing）（1） 「～すること」を表す（doing）（2）
パラグラフの構成② Comparison / Contrast		比較・対照	
7	Languages spoken in India 【言語】	【分詞】	doing / done を使って説明する doing / done を使って文に情報を加える
8	Fighting food waste 【環境問題】	【関係詞】	文の形で名詞（人や物など）を説明するほか 文の形で名詞（時や場所など）を説明するほか
9	Is making mistakes good or bad? 【読書】	【比較】	比較を表す（1） 比較を表す（2）
パラグラフの構成③ Cause and Effect		原因・結果	
10	How to revitalize a community 【地域社会】	【仮定法】	仮定を表す（1） 仮定を表す（2）
11	A digital art experience 【先端技術】	【否定・さまざまな表現】	否定を表す いろいろな表現を使って説明する
パラグラフの構成④ Time Order		時間的順序・手順	
Grammar for Expressing Yourself Plus 1		接続詞	
Grammar for Expressing Yourself Plus 2		前置詞	
Grammar for Expressing Yourself Plus 3		名詞・冠詞・代名詞	
Grammar for Expressing Yourself Plus 4		形容詞・副詞	
スピーチ、プレゼンテーションをしてみよう		スピーチ、プレゼンテーションの進め方	
ディベートをしてみよう		ディベートの進め方	
ディスカッションをしてみよう		ディスカッションの進め方	

*その他、各課の Goal Activities の活動において達成すべき目標 CAN-DO for Goal Activities〔前見返し〕、表現力をみがく活動ページ Extended Activities 1-11、基本例文一覧 Basic Sentences、テーマ別表現のまとめ Useful Expressions, Model Dialog / Model Passage 日本語訳, English Punctuation〔後見返し〕を収録。

*二次元コードにより、各課の学習ポイント解説動画を参考情報として提供。

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-178	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ 104-903	EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Essential		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容を取り揃えた。
- B. 言語の基本事項やそれに付随する重要表現はコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、言語の基本に関する指導を言語活動と一体的に展開できるように、各課を通して言語の基本知識の活用を積極的に促す活動素材を設けた。
- C. 英語を通して積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、指示文は適宜英語を用いた（ただし、Goal Activitiesにおける活動指示など、必要に応じて日本語を使用した）。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる質問例やパラグラフ等を用意し、一定の支援を与えた。
- D. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通して、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実にできるような心がけた。
- E. 多様な観点や立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面や状況を設定することで、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. 正課

1. 導入ページ

- ① **メインタイトル／サブタイトル**：各課のトピックに関する会話文やスピーチ（モデル文）の表す内容をメインタイトルとして、各課の Goal Activities で達成する目標をサブタイトルとして日本語と英語とに分けて提示しています。
- ② **トビラ写真**：各課のテーマに関連した、題材への興味を喚起する写真を載せています。
- ③ **Before you start...**：各課のテーマに関連した写真についてのリスニング問題と、ペアで行う簡単なやり取りの活動です。
- ④ **二次元コード**：モデル文のリスニングを行います。
- ⑤ **Model Dialog / Model Passage**：各課のトピックに関する会話文やスピーチ（モデル文）です。赤文字は Grammar for Expressing Yourself で学習する言語の基本事項、青文字は Logic and Expressions で扱っている表現です。
- ⑥ **Questions and Answers**：モデル文の内容に関する英問英答の活動です。
- ⑦ **Let's Communicate!**：モデル文に関連した内容について行うやり取りの表現活動です。
- ⑧ **Logic and Expressions**：モデル文中の論理展開のパターンを示す語句や重要表現などを中心に取上げて説明します。

2. 言語の基本事項を学ぶページ (Grammar for Expressing Yourself)

英語で表現するために必要な言語の基本事項や表現を学習するページです。

- ① 二次元コード：例文のリスニング、音読・発音練習を行います。
- ② 解説・基本例文：英語で表現するために必要な言語の基本事項や重要表現を学習します。
- ③ Practice：英語で表現する力を伸ばすのに役立つ、言語の基本事項や表現を確認する問題です。問題文は適宜 Express Yourself で活用することができます。
- ④ Express Yourself：学習した言語の基本事項や重要表現を用いて行う表現活動です。1で自分のことを書いたあとに、2ではそれを活かしてペアでやり取りの活動を行います。
- ⑤ ページ下部の活動：学習した文法事項や重要表現を用いてペアでやり取りの活動を行います。

3. 活動ページ (Goal Activities)

その課のゴールとなる表現活動を行うページです。Task 1 → Task 2 → Goal の3ステップに分かれています。

- ① Task 1：活動の準備を行うためのリスニング問題です。課のトピックやモデル文の内容に関連しています。
- ② Task 2：Goal で文章を書くための準備となるやり取りの活動です。適宜ヒントや解答例もつけています。
- ③ Goal：その課で学習したことを踏まえて、Task 2 でのやり取りの内容をもとに、まとまった文章を書いて発表する活動です。
- ④ TRY：その課で学んだことを活用して取り組むペアやグループで行うやり取りの活動です。
- ⑤ CAN-DO Self-review for Goal Activities：各Goal Activitiesでの学習内容の到達度を確認できる自己評価用チェックリストです。

B. その他

1. 前見返し (CAN-DO for Goal Activities)

各課のGoal Activitiesの活動において達成すべき目標を3領域に分けて示しています。

2. Paragraph Writing 1-4

典型的なパラグラフの展開パターンを学習するページです。スモールステップによる活動を通じて、一貫性のある論理的なパラグラフを書く練習ができます。

3. Grammar for Expressing Yourself Plus 1-4

- ① 解説・基本例文：英語で表現するバリエーションを増やすために必要な言語材料や重要表現を学習します。
- ② Express Yourself：学習した言語材料や重要表現を用いて、ペアでのやり取りを通して自己表現活動を行います。

4. 「スピーチ、プレゼンテーションをしてみよう」「ディベートをしてみよう」「ディスカッションをしてみよう」

英語で各活動を行うための解説をまとめています。学んだ知識を活かして様々な表現活動をする際に活用できるようにしています。

5. Extended Activities

各課で学んだ知識を活用しながら行う表現活動のページです。イラストで示された状況や設定において、ペアやグループでやり取りをしたり、クラスの前で発表したりします。

- ① ①：表現とイラストを関連させた活動です。正課で学習した言語の基本事項や重要表現を活用しながら、ペアでやり取りの活動を行います。
- ② ②：あるトピックに基づいてペアで会話をするやり取りの活動です。会話例を参照しながら自然な場面・状況で自分のことを自由に表現できるので、無理なく正課での学習事項を踏まえて表現力を伸長させることができます。
- ③ Further Activity：②で行ったやり取りの活動を、クラスの前で実演する活動です。

6. Basic Sentences

各課のGrammar for Expressing Yourselfで学習した基本例文を日本語訳とともに再掲しています。正課の復習を兼ねて活用することで英語での表現力をいっそう伸ばさせることができます。

7. Useful Expressions

各課のテーマに関連する語句を一覧にしています。Let's Communicate!やGoal Activities Task 2などの表現活動をする際に役立てることができます。

8. Model Dialog / Model Passage 日本語訳

各課のトピックに関する会話文やスピーチ（モデル文）の日本語訳です。

9. 後見返し（English Punctuation）

英語の句読法を具体例とともに解説しています。

2. 対照表

図書の内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1～11	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現Ⅰ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと</p> <p>② 言語の働きに関する事項</p> <p>内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に扱うものとする。</p>	<p>内容</p> <p>(1) Grammar for Expressing Yourself 解説文、基本例文(10, 12ページほか)</p> <p>(2) Before you start... 2 (8, 16ページほか) Model Dialog / Model Passage (9, 17ページほか), Express Yourself (11, 13ページほか), ページ下部の活動 (11, 13ページほか), Task 1 (14, 22ページほか), Task 2 (14, 22ページほか), Goal (15, 23ページほか), TRY (15, 23ページほか)</p> <p>(3) ① Before you start... 2 (8, 16ページほか), Let's Communicate! (9, 17ページほか), Express Yourself 2 (11, 13ページほか), Task 2 (14, 22ページほか), TRY (15, 23ページほか), Express Yourself 1(11, 13ページほか), Goal (15, 23ページほか)</p> <p>② Model Dialog / Model Passage (9, 17ページほか), Let's Communicate!(9, 17ページほか), Logic and Expressions (9, 17ページほか)</p> <p>内容の取扱い 上記(2)に同じ</p>	55

Paragraph Writing 1-4	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現 I」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項</p> <p>内容の取扱い 「論理・表現 I」の 3 と同様に取り扱うものとする。</p>	<p>(1) Paragraph Writing 1-4 (32, 33ページほか)</p> <p>(2) 同上</p> <p>(3) 同上</p> <p>内容の取扱い 同上</p>	4
Grammar for Expressing Yourself Plus 1-4	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り]</p> <p>(3) ② 言語の働きに関する事項</p>	<p>内容</p> <p>(1) 全般</p> <p>(3) ① イ Express Yourself (105, 107, 109, 111ページ)</p> <p>(3) ② 全般</p>	4
スピーチ, プレゼンテーションをしてみよう	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと [発表]</p>	112～115ページ	3
ディベートをしてみよう ディスカッションをしてみよう	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表]</p>	116～119ページ	3

<p>Extended Activities Lessons 1-11</p>	<p>内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現Ⅰ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] (3) ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ，話したり書いたりする言語活動を中心に，情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るよう指導するものとする。</p>	<p>(1) ① (121, 122ページほか) (2) ② (121, 122ページほか) Further Activity (121, 122ページほか) (3) ① ア ① (121, 122ページほか) イ ① (121, 122ページほか), ② (121, 122ページほか) ウ Further Activity (121, 122ページほか) (3) ② 全般 内容の取扱い 全般</p>	<p>—</p>
<p>Basic Sentences —基本例文—</p>	<p>内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項</p>	<p>133～148ページ</p>	<p>—</p>
<p>Useful Expressions</p>	<p>内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項</p>	<p>149～157ページ</p>	<p>—</p>
<p>後見返し English Punctuation</p>	<p>内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p>	<p>後見返しⅢ・Ⅳ</p>	<p>—</p>
<p>計</p>			<p>69</p>